

# 土壌分析結果表

No. 受付日 R6.4.1 作成日 R6.4.3

お名前	圃場名	コース	オプション	分析の目的	土壌の種類	作付け予定作物
土壌 太郎 様	畑A	標準	追加分析(リン吸)	予防診断	やや柔らかい	きゅうり
前作の生育状況	堆肥の施用量	排水性		この度は土壌ワークスの土壌分析サービスをご利用頂きありがとうございます。		
やや良好	100 kg/10a	良好				

項目	分析値	単位	適正值	低い	やや低い	適正	やや高い	高い
pH	5	pH	5.5~6.5		○			
アンモニア態窒素	5	mg/100g	5~15			○		
硝酸態窒素	5	mg/100g	5~10			○		
可給態リン酸	10	mg/100g	10~75		○			
交換性カリウム	25	mg/100g	50以下(目安)		○			
交換性カルシウム	100	mg/100g	200程度(目安)		○			
交換性マグネシウム	15	mg/100g	35程度(目安)		○			
交換性マンガン	80	mg/kg	15以上					○
可給態鉄	20	mg/kg	8~10以上					○
塩分(NaCl)	0.05	%	0.1以下			○		
腐植	3	%	—			○		
CEC	10	me/100g	15以上		○			
塩基飽和度	43	%	60~80		○			
塩基バランス(Ca:Mg:K)	6:1.6:1	—	5:2:1			やや良い		
Ca/Mg比	3.75	—	4~8		○			
Mg/K比	1.6	—	2~6		○			
リン酸吸収係数	800	—	—	黄色土・褐色低地土		程度		

適正值は一般的な作物の値です 栽培作物によって値が異なります
作物の品質や収量は土壌物理性や 土壌生物性も大いに影響します 多方面からの土作りが大切です
施肥設計を行う際は土壌の種類や 気温、排水性、これまでの栽培管 理状況等を考慮し行ってください
土作りは短期間では結果が出づら く、長期的に改良を行いましょ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・pHが低い(酸性)です。</li> <li>・リン酸が低いです。</li> <li>・カリウム、カルシウム、マグネシウムがやや低いです。</li> <li>・マンガン、鉄が高いです。</li> <li>・塩基飽和度が低いです。</li> </ul> <p>☆考察 塩基類(カリウム・カルシウム・マグネシウム)の不足により、pHが低下している可能性があります。それにより「リン酸の欠乏障害」「微量元素(マンガン・鉄など)の過剰障害」が発生する恐れがあります。また「モリブデンの欠乏障害」や「有害なアルミニウムの溶出」にも注意が必要です。 アレニウス表などを活用し、塩基バランスに注意しながらアルカリ資材で矯正を行い、塩基飽和度を高めてください。</p>
---

<p>①増減を必要とする養分(mg/100g)を算出する(目標とする値との差) ②算出値を10aあたりの養分施用量に換算する(増施肥、減肥量) ③現行施用量と②の値を考慮して施肥の増減を決定する</p> <p>例:カリウムの分析結果が40mg/100gで、「適正值を50mg/100g」「仮比重が0.8」「作土深さを10cm」とした場合の施肥計算(加里を10mg/100g増やしたい)</p> <p>計算式を使うと→(目標値50-分析値40)×0.8(仮比重)×10(cm)×0.1=8kg/10a よって10aあたり8kgのカリウムを施肥すると良い。</p> <p>* 仮比重は土壌の種類によって異なります。 * 作土深さは耕起方法等によって異なります。 * リン酸の計算を行う場合は土壌のリン酸吸収係数を考慮してください。</p>
---

種類	目安
黒ボク土	0.6~0.8
壤土	1
埴土・埴壤土	1.2
砂土	1.2~1.4
赤黄色土	0.8~1.0

作物の根が容易に伸長できる土層で、人為的な耕耘をした膨軟な部分のこと
作土層の目標 水田:15~20cm 野菜:25cm以上 根菜:30cm以上 ごぼう:60cm以上

係数	不足1mgあたり施用量
2,000以上(腐植質火山灰土壌)	12
2,000~1,500(火山灰土壌)	8
1,500~700(洪積土壌)	6
700以下(沖積土壌)	4

例:リン吸数800でリン酸が10mg/100g不足の場合  
10kg/10a(10mg/100g)×6=60kg/10aとなる  
\* リン酸は土壌の種類により、土壌への固定力が異なる。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・減肥</li> <li>・過剰養分を減らす</li> <li>・堆肥の養分も考慮</li> <li>・クリーニングクロープ</li> <li>・緑肥を活用する</li> <li>・深耕、客土</li> <li>・湛水除塩</li> <li>・周辺環境への配慮</li> </ul>
--